

「多様性 (ダイバーシティ)」の実現に向けて！

以前の「図書館通信」で、東京工業大学のリベラルアーツ（教養）教育に携わる教員が寄せたエッセイ集を紹介しました。彼らの著作リストを眺めていたところ、次の本に目が向きました。**伊藤亜紗『目の見えない人は世界をどう見ているのか』（光文社新書、2015 年）**です。この「通信」でたびたび話題にしている「多様性 (ダイバーシティ)」と関係しているのではないかなと思ったからです。

本書は、視覚「障害者」－著者は「障碍者」「障がい者」といった近年の表記を批判しています－の空間理解、五感や体の使い方、他者とのコミュニケーションなどにスポットを当てて、彼らがこの世界を認識するあり方と健常者のそれとが異なることを具体的に描いています。私が本書で、特に興味を持ったのは、次の二点です。一つは、**障害の「社会モデル」**という考え方。障害は従来、「個人のできなさ、能力の欠如」と捉えられてきましたが、そうした見方が、近年、批判にさらされているようです。**「見えないことが障害なのではなく、見えないから何かができなくなる」、あるいは、「社会の側にある壁によって日常生活や社会生活上の不自由さを強いられる」、それが障害と定義される**とのこと。となると、世の中の大多数を占める「目の見える人」は、視覚障害者が強いられる「社会生活上の不自由さ」を減らすよう努めなければなりません。**障害がにわかに、自分事となるのです**。二つ目は、今後の超高齢化社会とは、すなわち、さまざまな身体的障害を抱える高齢者の割合が増える「身体多様化の時代」であるという認識。「相手がどのような体を持っているのか」を想像し、「相手の体のあり方」を知ることが、円滑なコミュニケーションにとって必須となってくると、著者は言います。逆に言えば、障害を自分事として捉えない限り、相手の体のあり様を想像することはないでしょう。これからの「身体多様化の時代」を迎えるにあたり、障害の「社会モデル」はますます重要な論点になると思います。



続いて、もう一冊取り上げたい本があります。**五十嵐大『「コーダ」のぼくが見る世界 聴こえない親のもとに生まれて』（紀伊國屋書店、2024 年）**というエッセイで、非常に読みやすい作品です。「コーダ」(CODA)とは‘Children of Deaf Adult’の略称で、「耳が聴こえない、あるいは聴こえにくい親のもとで育った、聴こえる子どもたち」を意味します。「コーダ」の生きづらさが、著者のさまざまな体験を交えてつづられています。著者は彼らの生きづらさを解消するため、「多様性 (ダイバーシティ)」の実現を繰り返し訴えます。そして、そのためにポイントとなるのが、やはり障害の「社会モデル」。その意義について著者の言葉

を引用します。**「障害は個人と社会との相互作用で生まれるもので、社会の側が工夫、努力することで無くしている」というものである**。最近では、この「社会モデル」に照らして、社会をあらゆる人にとって使いやすく、生きやすい場所に変えていこうという動きが盛んだ。ろう者難聴者にとってのビデオ通話機能や電話リレーサービスのように、環境や仕組みが充実することによって「できない」が「できる」に移り変わってきている。そして、**この社会モデルの考え方に基づけば、障害のある当事者とそうでない人たちが手をつなぎ、ともに悩み、一緒に社会を変えていけるのだ**。

最後に、五十嵐さんのこの言葉を紹介します。「自分とは異なる状況に置かれている人たちの存在を認識すれば、世界の見え方は一変する。なんの問題もないと思っていた風景のなかに、僅かなゆがみをみつけることができるようになる。もしもそこで誰かが困っていたとしても、それに気づき、手を差し伸べられる。そう、**多様な社会を実現するためには、あらゆることを知る必要があるのだ**」。



新着図書案内



【B081 文庫本】

- * 早朝始発の殺風景 青崎有吾著 集英社
- * 眠れないほどおもしろい 蔦屋重三郎；江戸を熱狂させたエンタメ界の風雲児！ 板野博行著 三笠書房
- * 一ノ瀬ユウナが浮いている 乙一著 集英社
- * アパレル興亡 上・下 黒木 亮著 集英社
- * 宗棍 今野 敏著 集英社
- * 猫だけがその恋を知っている（かもしれない） 櫻いいよ著 集英社
- * 水たまりで息をする 高瀬隼子著 集英社
- * マチズモを削り取れ 武田砂鉄著 集英社
- * タイムマシンに乗れないぼくたち 寺地はるな著 文藝春秋
- * コーリング・ユー 永原 皓著 集英社
- * 恐るべき太陽 ミシェル・ビュッシン著 集英社
- * カミサマはそういない 深緑野分著 集英社
- * かわいい見聞録 益田ミリ著 集英社
- * 青春ゲシュタルト崩壊 丸井とまと著 スターツ出版
- * ダイヤモンドの原石たちへ 湊かなえ著 集英社
- * 命とられるわけじゃない 村山由佳著 集英社
- * 小福ときどき災難 群ようこ著 集英社
- * おいしくて泣くとき 森沢明夫著 角川春樹事務所
- * ブレイクニュース 薬丸 岳著 集英社
- * やなせたかし詩集；てのひらを太陽に やなせたかし著 河出書房新社
- * ヨイヨワネ あおむけ編／うつぶせ編 ヨシタケシンスケ著 筑摩書房

【S081 新書本】

- * 生きるためのブックガイド；未来をつくる 64 冊 岩波ジュニア新書編集部編（岩波ジュニア新書）
- * 日本人拉致 蓮池 薫著
- * コーポレートガバナンス入門 太田 洋著
- * 和菓子の京都；増補版 川端道喜著
- * わかりあえないイギリス；反エリートの現代政治 若松邦弘著
- （以上 岩波新書 新赤版）
- * 中東から世界が崩れる；イランの復活、サウジアラビアの変貌 高橋和夫著（NHK出版新書）
- * 多動脳；ADHD の真実 アンデシュ・ハセン著（新潮新書）
- * やりたいことは全部やりなさい；最後に後悔しない 25 のヒント 森永拓郎著（SB新書）
- * ユダヤ人の歴史；古代の興亡から離散、ホロコースト、シオニズムまで 鶴見太郎著（中公新書）
- * 22 世紀の資本主義；やがてお金は絶滅する 成田悠輔著（文春新書）

【000 総記】

- * わらって、考える！ イグ・ノーベル賞ずかん 古澤輝由監修 ほるぷ出版
- * 生成 AI でなにができる？；人と AI のかわり方 山田誠二著 文溪堂
- * 新聞のススメ 高井宏章著 星海社
- * ゼロからの読書教室；苦手な読書が好きになる！ 読書猿著 NHK出版
- * 本が大好きになる図書館の使い方；読書を最高のエンターテインメントに つのだ由美子著 秀和システム
- * 男女の進学格差はなぜ埋まらないのか？；「ジェンダー・トラック」について考える 中西祐子著 岩波書店

【100 哲学】

- * 12 歳から始めるイライラしない技術 安藤俊介著 秀和システム

【200 歴史】

- * 音声と写真でよみがえる昭和 戦前編 保阪正康著 NHK出版

【300 社会科学】

- * 日本国勢図会 2025/26；日本がわかるデータブック 公益財団法人 矢野恒太記念会編 矢野恒太記念会
- * 新データで読む地域再生；「人が集まる県・市町村」はどこが違うのか 日本経済新聞社地域報道センター編 日本経済新聞出版

【400 自然科学】

- * 日本の深海魚図鑑 岡本 誠他編著 山と溪谷社

【500 技術・工学・工業】

- * 操船のひみつ おがたたかはる著 Gakken
- * ヨチヨチ父；とまどう日々 ヨシタケシンスケ著 ポプラ社

【600 産業】

- * まちおこしは総力戦で挑め！；小田原発「地域創世のカギはSDGsにあり」 蓑宮武夫著 PHP 研究所
- * 小さな違いが、大きく化ける！；「当たり前」を疑う産品づくり・まちおこしー北村森のモノめぐり 北村 森著 中日新聞社
- * セブン-イレブン・ジャパン 50 年の歩み 1973-2023 セブン&アイ・ホールディングス広報センター編 セブン-イレブン・ジャパン
- * 観光学ガイドブック；新しい知的領野への旅立ち 大橋昭一他編 ナカニシヤ出版
- * 新しい観光学；観光とリゾート、そしてオルタナティブ・ツーリズム 十代田朗著 左右社

【700 芸術】

- * やなせたかしの言葉；いくつになっても夢を追いつける 桑原晃弥著 リベラル社
- * やなせたかし；「アンパンマン」誕生までの物語 筑摩書房編集部編 筑摩書房
- * やなせたかし；メルヘンの魔術師 90 年の軌跡 中村圭子編 河出書房新社
- * ボクと、正義と、アンパンマン；なんのために生まれて、なにをして生きるのか やなせたかし著 PHP 研究所
- * まてないの ヨシタケシンスケ著 ブロンズ新社

【900 文学】

- * あれはだれの歌；やなせたかし 詩とメルヘンの世界（新装版） やなせたかし著 瑞雲舎
- * カラフル 阿部暁子著 集英社
- * 踊りつかれて 塩田武士著 文藝春秋
- * 放課後ミステリクラブ 5 龍のすむ池事件 " 6 教室のとうめい人間事件 知念実希人著 ライツ社
- * 青春サプリ。 —きみの背中を見ている " —このまま終わりたいくない " —新しい一歩を踏み出す 日比野恭三他著 ポプラ社
- * それいけ！平安部 宮島未奈著 小学館
- * ぼくは戦争は大きい；やなせたかし平和への思い やなせたかし著 小学館クリエイティブ
- * スラムに水は流れない ヴァルジャ・バジヤージ著 あすなる書房